

はんど の はんど

車いす体験中

総合的な学習の時間で
福祉について勉強しています。



今号の話題

- ②～③ 特集1 社協のしくみ
- ④～⑤ 特集2 福祉教育
- ⑥ 顕彰規程に基づく表彰式 報告
- ⑦ 共同募金、歳末たすけあい報告
- ⑧ 入れ歯回収箱の設置
- ⑨ 心配ごと相談所日程、
寄付報告
- ⑩～⑪ クリップボード
- ⑫ ボランティアグループ紹介、
保険の加入

平成22年
4月1日

No.109

どんな仕事をしているの？



坂戸市社協では、主に次のような事業を行っています

在宅での生活を支援するために



在宅福祉サービス

あんしんサポートネット

(日常生活自立支援事業)

高齢者や知的障害・精神障害のある方が、安心して生活が送れるよう、金銭管理や福祉サービスの利用をお手伝いします。

障害者等移送車貸し出し事業

車いすに乗ったまま乗車できる、リフト付き自動車をお貸しします。(要事前登録)

車いす貸出し事業

急に車いすが必要になった方に、最長3ヶ月間お貸しします。

さかどボランティア・市民活動センター

ボランティア活動への参加を広く呼びかけるとともに、その活動を推進するための様々な支援を行っています。

ボランティア養成講習会

各種講座等を企画し随時開催します。地域福祉カレッジ・朗読ボランティア初級講座等



ボランティア活動

さまざまな悩みごとを解決するために



相談窓口を設置

心配ごと相談所の開設

相談員が問題の解決へ向けた助言や情報提供をおこないます。

生活福祉資金貸付事業

低所得世帯・障害者世帯等の方々を対象に、低金利での貸付をおこないます。

ふれあいサービス

家事援助を中心とした福祉サービスを低額有料で実施します。(会員登録制)



ネットワーク活動

地域の組織団体等とのネットワークにより



福祉のまちづくり

社協だより「はんど to はんど」の発行

福祉活動の啓蒙や情報提供を年4回おこないます。
(7月1日、10月1日、1月1日、4月1日発行)

みなさん、こんにちは!

私たちは、さかどボランティア・市民活動センターの
マスコットキャラクター“ボラン”と“ティア”です。
今回は、私たちが坂戸市社会福祉協議会についてご紹介します。



社会福祉協議会（社協）とは…

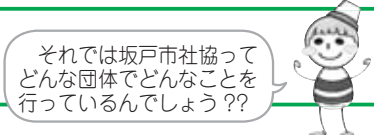
誰もが安心して楽しく暮らせる「福祉の街づくり」をすすめるために、地域住民のみなさんやボランティア、保健・福祉などの関係者、行政機関の協力を得ながらともに考え、実行していく民間の福祉団体です。

社会福祉協議会は通常“社協”と略されることが多く、坂戸市社会福祉協議会の場合は“坂戸市社協”と呼ばれることが一般的です。

福祉とは、一部の人のためだけにあるものではなく、私たち自身がよりよく生きるために必要となるものです。住民みんなの参加でのもとに作りあげた福祉があって、福祉社会を築くことができるのです。

坂戸市社協は住民参加や協力のもと、福祉社会の実現のために様々な活動を行っています。

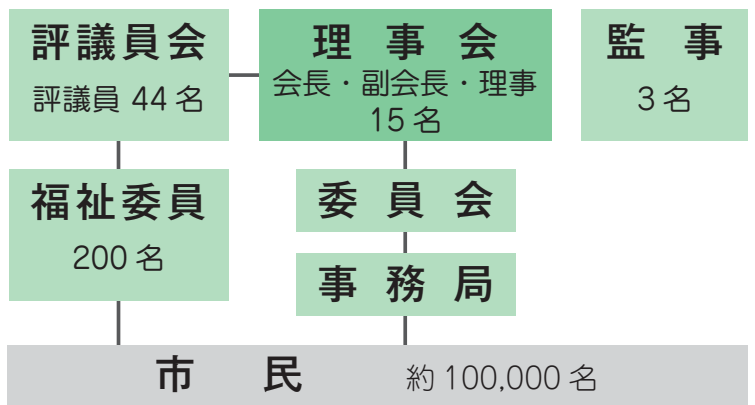
坂戸市社協ってどんな団体??



坂戸市社協は、図のような組織により構成され運営されています。

理事及び評議員は、住民代表、福祉団体、ボランティアや行政関係者等様々な方によって構成されています。

福祉委員さんとは、地域社会福祉の成果を高めると共に、地域に密着した社会福祉活動を推進するためにお願いしている方です。



では、ここで平田会長と福祉委員を代表して石井さんをご紹介します。



会長 平田 嘉一郎
坂戸市社協は、坂戸市福祉センター内に移転し、2年目に入りました。地域福祉を推進するため、様々な事業を行っておりますが、必ずしもすべての市民の方々に「社協」が知られていないことが現状とされますので、ご理解をいただくための努力をしまいたいと存じます。社協と住民、福祉団体及び行政が協働で、「住みやすい福祉の街づくり」を推進するため、市民の皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。



福祉委員（北坂戸）石井 征子さん
私が福祉委員になって10年が過ぎました。4歳から坂戸の地で育ち、北坂戸団地に住んで36年になります。3人の息子達もこの団地で地域の皆様に育てていただきました。少しでもそのお礼がしたいという思いで引き受けました。始めは会員募集、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金のお願いで回る時「福祉委員の石井です。」の言葉を言うのがドキドキでした。10年経った今、度胸がつかえました。いただいた募金が福祉のために使われると思うと福祉委員になって良かったと思います。

『福祉教育・ボランティア学習研修会』の開催

次代を担う子どもたちの“福祉の心”を育むためには、まず関係者が豊かな福祉観を持ち、実践していくことが大切です。研修会では、社会福祉協議会及び坂戸市福祉教育・ボランティア学習推進員で協議を重ねて作成した、坂戸市独自の「福祉教育・ボランティア学習推進のてびき」を活用しながら、実際に授業で福祉教育の推進や組み立てができるよう、小・中・高等学校の教員、PTA、福祉施設職員や地域ボランティアの方など多くの関係者のご協力を得て、より良い実践方法のヒントを学び合っています。



『地域福祉カレッジ』の開催

市民（大人）を対象とした福祉教育として、誰もが暮らしやすい地域になるために、自分にできることは何か、地域でできることは何かを考えています。



平成22年度 地域福祉カレッジ 参加者募集!

日時	内容	講師
5月21日(金) 13:30~15:30	ふくして何?	坂戸市福祉教育・ボランティア学習推進員
5月28日(金) 13:30~15:30	体験学習	坂戸市福祉教育・ボランティア学習推進員
6月4日(金) 13:30~15:30	「住民流福祉のまちづくり」	住民流福祉総合研究所 所長 木原 孝久 氏

会場：坂戸市福祉センター 会議室 定員：50名（応募者多数の場合は抽選）
（石井 2327 - 6） 申込〆切：5月7日（金）

参加費：500円

坂戸市社会福祉協議会 さかどボランティア・市民活動センター TEL 283-1597

福祉教育の取り組み!

福祉教育ってなに？

私たちの住む地域には、子供やお年寄り、障害のある方、外国人、妊婦、子育て中の人など、さまざまな人が暮らしています。福祉教育とは、こうしたさまざまな人たちが共に同じ地域で幸せに暮らしていくためにはどうしたら良いかということ、福祉体験や交流などを通じて学び、気づき、理解を深めていくことを目的とした教育です。

坂戸市社会福祉協議会「さかどボランティア・市民活動センター」では、次のような取り組みをしています。

『総合的な学習の時間』の応援

小さいうちから“福祉の心”を育成するため、小・中学校及び高等学校が取り組む福祉教育に対して、プログラム作成等の助言、福祉機器の貸出、指導者等の調整・派遣など、学校における福祉教育の応援をしています。



『あたたかいご協力』 ありがとうございました



10月1日から展開された赤い羽根共同募金に、今年度も皆さまの『やさしさ』がたくさん集まりました。心から感謝申し上げます。

赤い羽根共同募金

8,715,434 円

・戸別募金	7,282,172 円	・職域募金	578,671 円
・街頭募金	38,798 円	・個人大口募金	28,682 円
・学校募金	225,111 円	・法人募金	562,000 円

坂戸市で集められた募金は、1/2は来年度坂戸市社会福祉協議会に配分され、事業実施の財源となります。

また、残りの1/2は埼玉県内の民間福祉団体・施設に配分されます。

歳末たすけあい募金

4,446,371 円

・戸別募金	4,272,685 円	・指定募金	173,686 円
-------	-------------	-------	-----------

歳末たすけあい募金については、民生委員さんのご協力により

○在宅要介護者世帯に対する慰問品

○ひとり暮らし高齢者へおせち料理の配布 他、各種事業へと配分されました。

歳末たすけあい指定募金

(順不同・敬称略)

・森田 善夫	30,000 円	・航空自衛隊入間基地隊員一同	50,000 円
・柏保 行一	10,000 円	・クノールプレムゼ商用車システムジャパン株式会社	21,687 円
・佐藤 清	5,000 円	・ずばらの貝	3,000 円
・勝光寺檀信徒一同	20,000 円	・坂戸・鶴ヶ島地区労働組合協議会	23,099 円
・坂戸ひまわりクラブ	900 円	・日本キリスト改革派坂戸教会	10,000 円



千代田保育園の皆さんが「やさしさ」を届けてくれました

ご協力ありがとうございました！



地域の福祉貢献に 敬意を表して

2月9日(火)坂戸市福祉センターにおいて、坂戸市社会福祉協議会顕彰規程に基づく表彰状授与式が開催されました。

この表彰は、多年にわたり社会福祉事業の進展に功績のあった方々に、表彰状・感謝状を贈呈し、感謝の意を表するものであります。

なお、受賞されました方々は、次のとおりです。(敬称略)
おめでとうございます。

社会福祉協議会会長表彰

社協役員功労者

社会福祉協議会の役職員、評議員、福祉委員、心配ごと相談員、委員会委員として、その在職期間が10年以上であって、その活躍がめざましく、地域福祉に貢献することが大であり、他の模範と認められる者

土屋正道 (理事)・岡部貞夫 (評議員)
久保理子・秋澤富美子 (福祉委員)

ボランティア活動者

グループ又は個人で常日頃、ボランティアとして積極的に活動している者

日本語サロンつどい

社会福祉協議会会長感謝

社協役員功労者

社会福祉協議会の役員、評議員、福祉委員、心配ごと相談員として本会事業に対して功績顕著な者

齋藤博 (理事)
中村貞夫・柴田一男・坂本尊夫 (福祉委員)

多額寄附者

社会福祉事業資金並びに共同募金、歳末たすけあい事業に多額の金品等寄附者に対する感謝

坂戸ロータリークラブ、坂戸キリスト教会、勝呂地区チャリティゴルフ大会、西入間遊技業防犯協会、竹馬&お客様一同、新町婦人カラオケ会、坂戸ガス、航空自衛隊入間基地隊員一同、入西地区ゴルフ大会、たんぼぼグループ、クノールブレムゼ商用車システムジャパン株式会社労働組合、坂戸・鶴ヶ島地区労働組合協議会

出張

配ごと相談所



～ちょっと休んで、心の日なたぼっこしませんか？～

少し心配なことがあるけれど…誰に相談してよいかわからない。誰かに、聞いてもらいたい…など、ありましたら、ご相談ください。気軽に相談できる窓口です。相談まで少しお待ちいただくことありますが、予約せず無料で相談できます。

開設場所	開設時間	開設日			
		午前9時～12時	4月	5月	6月
※東坂戸団地集会所	第1火曜日	6日(火)	—	1日(火)	6日(火)
坂戸市福祉センター	第2水曜日	14日(水)	12日(水)	9日(水)	14日(水)
北坂戸出張所	第3木曜日	15日(木)	20日(木)	17日(木)	15日(木)
入西公民館	第4金曜日	23日(金)	28日(金)	25日(金)	23日(金)
大家公民館	第2月曜日	12日(月)	10日(月)	14日(月)	12日(月)
西坂戸自治会館	第3水曜日	21日(水)	19日(水)	16日(水)	21日(水)

(開設日が祝日の場合は、お休みです)

※東坂戸団地集会所のみ午前9時30分～12時30分の開設です。

皆さんからの善意

平成21年12月1日から2月28日まで(順不同・敬称略)

【現金の部】

- 坂戸市芸術文化展実行委員会 5,480円
- (株)セレモアつくば(2件) 169,372円
- 埼玉パイロットクラブ 100,000円
- 坂戸市民チャリティマラソン実行委員会 68,705円
- 坂戸ロータリークラブ 30,000円
- 西入間遊技業防犯協力会 100,000円
- 坂戸キリスト教会 200,000円
- 芳友そろばん塾生徒一同 28,975円

- 竹馬&お客様一同 55,240円
- 西坂戸山車保存会、武蔵城山はやし会 19,705円
- 安斉 彰三 3,632円
- すすらんダンスクラブ 10,000円
- 特定非営利法人 坂戸市学童保育の会 24,500円
- 坂戸市くらし展実行委員会 5,120円
- 匿名(6件) 46,765円

【物品の部】

- 伊豆の山町西町内会 廃油キャンドル 84個

ありがとうございました



捨てないで！



世界の恵まれない子ども達のために 坂戸市の福祉のために
その入れ歯を寄付してください！

不要になった入れ歯が役立つことをご存じですか？入れ歯には貴金属が含まれており、この金属をリサイクルしてお金に戻元することができます。

社会福祉協議会では、NPO法人日本入れ歯リサイクル協会と協力して、市内2カ所に『入れ歯回収ボックス』を設置しました。回収された入れ歯は、協会を通じて精錬・換金し、その収益は、財団法人日本ユニセフ協会及び坂戸市社会福祉協議会へ寄付され、世界の子ども達や坂戸市の福祉のために役立てられます。

なぜ不要になった入れ歯を？

入れ歯には金属のクラスプ（歯にかけるバネ）がついていますが、そのクラスプにはパラジウム合金という合金が使われており、その合金には、金や銀、パラジウムといった貴重な金属が含まれています。

入れ歯一つひとつでは再生コストが高くなりますが、不要になった入れ歯をまとめて回収し、大量にリサイクルすることにより、資源として生まれ変わります。

回収ボックスの設置場所

- ・坂戸市役所
- ・坂戸市福祉センター

回収対象

- ・金属の付いている入れ歯
 - ・歯に詰めた『インレー』
 - ・歯にかぶせた『クラウン』
 - ・歯と歯をつないだ『ブリッジ』
- ※金属の付いていない入れ歯は回収できません。

寄付の方法

- ① 汚れを落とし、熱湯か入れ歯洗浄剤で消毒してください。
- ② 新聞チラシ等の厚手の紙で入れ歯を包み、ビニール袋に入れてください。
- ③ 回収ボックスに投入してください。



お問い合わせ NPO法人 日本入れ歯リサイクル協会 TEL 0120 - 24 - 1083

広告

いつまでも忘れないでいたいから
大切なペットちゃんの火葬承ります



ひかりペット霊園

24時間相談専用ダイヤル ☎ 0120-42-1142
TEL. 049-289-0711 埼玉県坂戸市青木 452-1
<http://www.petreien.biz/>



特別ご優待券（セレモニー料より5%割引いたします）
携帯電話のバーコードリーダーでご利用ください。

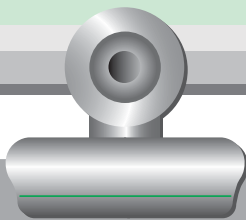
～ 広告募集 ～

ご覧の「はんど to はんど」へ掲載する広告を募集しています。

- ◆掲載方法 年4回発行「はんど to はんど」へ掲載
- ◆掲載規格 縦 50mm×横 90mm
- ◆掲載料金 1号につき 1区画 15,000円

*その他詳細は、本会窓口配布の「社会福祉法人坂戸市社会福祉協議会有料広告取扱要綱」のとおりです。

【申込み・問合せ】 社会福祉協議会 ☎ 283-1597 まで



クリップボード

CLIP BOARD

ボランティアに関する相談は・・・

さかどボランティア・市民活動センター

☎ 283-1597

☎ 289-3911



イベント

1 作業所まつり

ステージイベント（もちつき等）、作業所紹介、作業所製品販売、模擬店、バザー、新鮮野菜、ビンゴゲーム等お楽しみ満載です。

是非、遊びに来てください。

日 時 5月29日(土) 10:00~14:00

場 所 坂戸市立第二福祉作業所(石井309-3)

問 合 先 坂戸市立第二福祉作業所

☎283-5044



ボランティア募集

2 作業所まつりボランティア募集

模擬店（うどん・カレー等）販売、ステージイベント進行等のお手伝いをしてくださる方を募集しています。

日 時 5月29日(土) 9:30~14:30

場 所 坂戸市立第二福祉作業所(石井309-3)

定員・対象 10名・中校生以上

問 合 先 坂戸市立第二福祉作業所 小池

☎283-5044

3 ガーデンキーパーボランティア募集

市内福祉施設の庭や花壇の整備など、お手伝いしていただける方を募集しています。

日 時 毎週水曜日 9:00~11:30

場 所 介護老人保健施設「すみよし」(塚越769)

問 合 先 さかどボランティア・市民活動センター

☎283-1597

4 シャロームあやめ祭りボランティア募集

シャロームあやめ祭りで、模擬店のお手伝い、駐車場案内等のお手伝いをしてくださる方を募集しています。

日 時 5月8日(土) 14:00~16:00

場 所 シャローム・ガーデン坂戸(新堀1-1)

人 数 30名

申 込 先 シャローム・ガーデン坂戸 大岡

☎282-4590

5 坂戸児童センター こどもまつりイベントボランティア募集

イベントスタッフとしてボランティアを募集します。事前の館内装飾や、当日の模擬店やゲームコーナーのお手伝いをお願いします。

日 時 準備日 5月2日(日) 9:00~17:00

当 日 5月5日(水) 9:00~17:00

場 所 坂戸児童センター(芦山町23)

定員・対象 10名・高校生以上

持 ち 物 昼食、飲み物、上履き

問 合 先 坂戸児童センター 井田

☎283-4378



学 ぶ

6 「地域福祉カレッジ」参加者募集

地域福祉について学習し、日々の暮らしの中で役立つ内容です。(詳しい内容はP5)

日 時 5月21日(金)、5月28日(金)、

6月4日(金)

13:30~15:30

場 所 坂戸市福祉センター 会議室

定 員 50名

参 加 費 500円(保険、資料代等)

申 込 切 5月7日(金)

申 込 先 さかどボランティア・市民活動センター

☎283-1597



交流・集う

7 「歌って あそぼ！」へみんなおいでヨ！

子育て親子と高齢者の交流サロンです。一緒に楽しいひとときを過ごしましょう。(出入り自由)

日 時 4月20日(火) 10:00~11:30

場 所 坂戸市福祉センター 会議室
(石井 2327-6)

参加費 100円(保険代等)

問合せ先 「あそぼう会」荻原

☎ 090-6501-5177

8 おしゃべりサロン

シニアのみなさん、仲間づくりをしませんか！おしゃべり、囲碁、将棋、麻雀、トランプ、折り紙等をしながら、楽しい時間を過ごしましょう!!お手伝いしてくださるスタッフも募集しています。

日 時 毎月第1・3火曜日 10:00~15:00

場 所 ルミネンスやはた304号室
(八幡1-2-19)

参加費 1時間 100円(昼食代は別途集金)

申込先 松本

☎ 090-2763-4089

9 “ダンディー'S ~男の料理教室~”参加者募集

女子栄養大学ECOS(エコス)では、50歳以上の男性を対象に、『カルシウムたっぷりの料理を作ろう!』をテーマに料理教室を開催します。

日 時 4月18日(日)、5月16日(日)、
6月13日(日)
10:00~13:00

場 所 女子栄養大学 香友会館(千代田3-18-21)

定 員 10名(3回参加できる方)
(応募者多数の場合は抽選)

参加費 1,500円(500円×3回)

持ち物 エプロン、三角巾、上履き

申込期間 4月1日(木)~4月15日(木)
9:00~17:00

申込先 さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597

10 “スマイルレディー'Sキッチン”参加者募集

女子栄養大学ECOS(エコス)では、50歳以上の女性を対象に、『葉酸たっぷりの料理を作ろう!』をテーマに料理教室を開催します。

日 時 4月25日(日)、5月23日(日)、
6月27日(日)
10:00~13:00

場 所 女子栄養大学 香友会館(千代田3-18-21)

定 員 10名(3回参加できる方)
(応募者多数の場合は抽選)

参加費 1,500円(500円×3回)

持ち物 エプロン、三角巾、上履き

申込期間 4月1日(木)~4月15日(木)
9:00~17:00

申込先 さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597



ボランティアセンターからのお知らせ

11 ボランティアサロン

毎月、第4木曜日はボランティアの日とし、ボランティア活動に関する相談を行っています。情報交換や仲間作りの場としてもご利用ください。

日 時 4月22日(木)、5月27日(木)
9:00~15:00

場 所 ボランティアビューロー
(コミュニティセンター内)

問合せ先 さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597

12 出張ボランティアサロン『こすもす』

東坂戸団地内で、ボランティアサロンを開催しています。楽しくおしゃべりしながら情報交換や仲間作りをしませんか?(出入り自由・無料)

日 に ち 4月14日(水)、5月12日(水)、6月9日(水)
時 間 10:00~11:30

場 所 NPO法人こすもす 喫茶店(東坂戸2-9-105)

問合せ先 さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597



すまいる伝言板



坂戸市朗読サービスグループ カナリア



私達は、目の不自由な方々のために、毎月「声のおたより」としてテープやCDに情報を納め配布。また坂戸市広報・市議会だより・はんど to はんどの音訳にも協力。訪問朗読や埴保己一学園等の依頼による録音図書の作成。リスナーの方々との交流会や朗読会の実施。以上が主な活動です。

初級朗読講座終了生が会員となり、毎月第1・3土曜日に定例会・勉強会を実施しています。

おかげ様で今年は創立30周年を迎え、7月3日(土)にオルモにて記念朗読会を開く予定です。たくさんの方々のご来場をお待ちしています。

問い合わせ 福村 ☎284-0985

たけとんぼの会



20年前一人の知的な障害を持つ女の子が地域の学校で共に学びたいという願いから「たけとんぼの会」が発足されました。

月に1回の定例会では会員の近況報告や障害児教育についての勉強会、教育相談や教育委員会との話し合いなどを行っています。

地域で共に学びあってこそ、共に働き、共に生きていくことにつながるのです。

どんな障害があっても「共に学び育ち合うために…」をテーマに、たけとんぼの会は地域の学校で学んでいる障害のある子を応援しています。

問い合わせ 吉井 ☎284-8466

ボランティア活動保険の加入手続きはもう済みましたか？

平成22年度の『ボランティア活動保険』加入受付を行っています。

この保険は、ボランティア活動中にケガをした場合の「傷害保険」と、第三者の身体や財物に損害を与えた場合に見舞金および賠償金を支払う「賠償責任保険」がセットになっています。

詳しくは、さかどボランティア・市民活動センターにありますパンフレットをご覧ください。

保険期間 毎年4月1日～翌年3月31日
(年度切替のため、昨年度加入者は再度手続きが必要です)

加入できる方 ボランティア個人またはグループ

年間保険料 基本タイプ Aプラン 280円
Bプラン 420円

問合せ先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

発行/社会福祉法人 坂戸市社会福祉協議会 〒350-0212 坂戸市大字石井2327番地6
◇市内65歳以上の高齢者 20,289人 男9,592人 女10,697人 高齢化率20.1% (3月1日現在)



はんど to はんどは、再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。
この「はんど to はんど」は、共同募金の配分を受けて発行されています。

はんど to はんど